



①新しい保育所の庭で遊ぶ子どもたち
②子どもたちも参加した開所式(4月2日)

飯 岡中央保育所と三川保育所を統合した新しい保育所が、飯岡支所敷地内に完成。4月1日から「旭市立いいおか保育所」としてスタートしました。これは、老朽化で耐震性に不安のあった両保育所を統合移転したものです。開所式などを経て本格的な保育が始まると、真新しい庭では子どもたちの遊ぶ姿などがありました。

建物は鉄筋コンクリート造り2階建てで、延べ床面積992.19㎡。津波に備え外階段やスロープを設け、屋上(海拔14.6m)は300人が避難できるようになっています。



飯岡地域の保育所が統合、 新たなスタート

旭市立いいおか保育所開所

あさひ少年少女合唱団 第9回スプリングコンサート

春を届けるハーモニー

あ さひ少年少女合唱団が、恒例の春のコンサートを3月30日に東総文化会館で開催しました。

この日子どもたちはホールに歌声を響かせたほか、ダンスなども披露。それに合わせて来場者のリズムを取ったり、笑顔で見つめたりする姿がありました。またフィナーレには出演者全員が舞台上がり、来場者と共に復興支援ソング「花は咲く」を歌い上げていました。



フィナーレは会場全体に呼び掛けて合唱

災害公営住宅へ入居開始

新たな生活が始まる



室内を確認する入居者

東 日本大震災で被災し、住宅の再建が困難な人が入居する災害公営住宅が仮設住宅飯岡の南側に完成。その住宅入居者への鍵引き渡し式が4月2日、飯岡保健センターで行われました。この日、鍵を受け取った入居者は、早速、室内を確認したり荷物を運び入れたりしていました。

災害公営住宅(3階建て集合住宅・33戸)には、仮設住宅などから33世帯54人が入居。新たな生活が始まりました。

4 1 人権擁護委員に再任



宮本英一さん(下永井)

法務大臣の委嘱により、宮本英一さんが4月1日付けで人権擁護委員に再任されました。人権擁護委員は、日常で起こるさまざまな人権問題を解決するため、皆さんの相談に応じます。なお相談日は毎月第1～4火曜日。くわしい内容は、広報あさひの1日号の相談室に掲載しています。

4 1 新たに監査委員を選任



平野哲也さん(イ)

平成26年旭市議会第1回定例会で同意を得て、平野哲也さんが4月1日付けで監査委員に選任されました。平野さんは、地方自治法196条に規定のある「優れた識見を有する者」として選ばれています。なお監査委員は、市の事業の定期監査や例月出納検査、決算審査などを行います。

4 5 交通安全はみんなの願い



交通安全を願う手紙を贈る子どもたち

春の全国交通安全運動出動式が旭警察署で開催。この日、市内の子どもたちが高齢者に、交通安全を願う手紙を贈り、交通事故に遭わないよう互いに誓い合いました。また街頭では交通安全関係団体などが啓発物の配布を行い、交通事故防止を呼び掛けていました。

4 13 発明クラブ第32期生たちが活動開始



指導員や保護者と一緒に工作

旭少年少女発明クラブ開始式が、青年の家庭体育館そばの発明クラブ工作室で行われ、第32期生たちの活動が始まりました。この日は親子工作が行われ、ビー玉とCDを使ってこまが作られました。完成したこまを回す子どもたち。「よく回った」「楽しかった」などと笑顔を見せていました。

熊野神社・鎌数の神楽

春を告げる伝統の演舞



訪れた人たちに菓子^{うけもち}をまく保食の神(鎌数の神楽)



華やかな衣装を身にまとった稚児舞(熊野神社の神楽)

熊野神社の神楽が清和乙にある境内で3月21日、鎌数の神楽が3月27日と28日に鎌数伊勢大神宮で、地域の平穏や五穀豊穡^{ほろじょう}などを願い奉納されました。

江戸時代から続く伝統の神楽は、共に千葉県指定無形民俗文化財。神楽殿の前には多くの人が訪れ、次々に披露される演舞を見入ったり、写真を撮ったりしていました。

旭市ママさんバレーボール都市交流大会

金メダリストがバレーボールを指導



白井さんの指導に視線が集まる

旭市ママさんバレーボール都市交流大会が3月22日、23日の二日間にわたり総合体育館で開催。市内外から19チームが参加したこの大会には、1976年のモントリオール五輪で金メダルを獲得した白井貴子さんが訪れ、指導に当たりました。「レシーブは前にボールを押し出すように」「ブロックは、スパイクを打つ人の鼻を見て跳ぶ」といったアドバイスに耳を傾け、練習を行う参加者たちの姿がありました。